

事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉戦略				
目指す姿	2 安心して質の高い医療の提供				
施策の方向性	① 医療を支える人材の育成・確保				
事業名	保健師人材育成支援事業			事業年度	R7 年度～年度
部局名	健康福祉部	課室名	保健・疾病対策課		
チーム名	調整・自殺対策・母子保健チーム				

1 事業実施の背景及び目的

住民の健康課題やニーズの多様化等により、自治体保健師の活動領域が拡大し、それに対応する実践能力が求められているが、分散配置や在職者の年代の不均衡等により、知識や技術の継承の機会が不十分となっている。保健師の体系的かつ継続的な現任教育体制の整備により、個々のキャリアに応じた計画的な研修受講を促進し人材育成支援を進める。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	保健師人材育成支援事業	保健師現任教育推進検討会及びキャリアレベル別研修会の試行、検証を実施する。	1,998		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	1,998	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		地域医療介護総合確保基金(医療分)	1,998		
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	人材育成プログラム策定市町村数(市町村)【成果指標】									
指標式	新たに人材育成プログラムを策定した市町村数									
出典	保健・疾病対策課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								2	3	4
実績b							5			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉戦略					
目指す姿	2 安心で質の高い医療の提供					
施策の方向性	② 地域医療の提供体制の整備					
事業名	医療施設等経営強化緊急支援事業			事業年度	R7	年度～
					R7	年度
部局名	健康福祉部		課室名	医務薬事課		
チーム名	調整・医療計画チーム、政策・地域医療チーム、医務・薬務チーム					

1 事業実施の背景及び目的

人口減少や物価高騰等の経済状況の変化が医療機関等の経営状況の悪化を招いているため、設備の導入等に対して緊急的に支援を行うことで、地域の医療体制の維持を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	生産性向上・職場環境整備等支援事業	ベースアップ評価料を届け出ている医療機関等が行う、生産性向上に資する賃上げや設備導入等の取組を支援する。	627,065		
2	病床数適正化支援事業	入院医療を継続してもらうため、病床数の適正化(削減)を進める医療機関に対して支援を行う。	603,288		
3	施設整備促進支援事業	物価高騰など経済状況の変化により、施設整備等が困難となっている医療機関へ支援を行う。	5,688		
4	分娩取扱施設支援事業	地域における分娩機能を維持するため、分娩取扱数が減少している分娩取扱施設へ支援を行う。	17,500		
5	小児医療施設支援事業	地域で子どもを安心して育てることができる小児医療体制を確保するため、小児入院患者数が減少している小児医療の拠点となる施設へ支援を行う。	11,750		
その他合計(2件)			44,994		
財源内訳		左の説明	1,310,285	0	0
国庫補助金	医療施設等経営強化緊急支援事業費補助金		1,293,185		
県債					
その他					
一般財源			17,100	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	支援した医療機関等の施設数(施設)【業績指標】									
指標式	支援した医療機関等の施設数									
出典	医務薬事課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								542		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	5 健康・医療・福祉戦略					
目指す姿	2 安心で質の高い医療の提供					
施策の方向性	② 地域医療の提供体制の整備					
事業名	重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業			事業年度	R7	年度～ 年度
部局名	健康福祉部		課室名	医務薬事課		
チーム名	政策・地域医療チーム					

1 事業実施の背景及び目的

現在、秋田市を除く市町村全てが医師少数区域であり、医療需要に対して外来機能を担う医療機関が不足している。そのため、医師偏在の是正及び地域医療提供体制の確保を図ることを目的に、県が重点医師偏在対策支援区域として設定した地域において、承継又は開業する診療所の施設・設備整備等に要する経費を助成する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業	支援区域内で承継又は開業する診療所の施設・設備整備および運営費に対し助成する。	198,549		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	198,549	0	0
国庫補助金	医療施設等施設整備費補助金、医療施設等設備整備費補助金、医療施設運営費等補助金		132,363		
県債					
その他					
一般財源			66,186	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	重点医師偏在対策支援区域における診療所の開設数(施設)【成果指標】									
指標式	診療所開設件数(医科診療所でない診療所や、医務室、社内診療所等の外来を行っていない施設は除外)									
出典	医務薬事課調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								4	4	4
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)